

公民館の窓

◆老壯大学開講記念講演会

とき・4月27日(火)午前10時
ところ・中央公民館

講師・大館市長 皇山健治郎

「昭和57年度の市政方針」

◆第1回市民文化セミナーのご案内

書道コース(定員40名)

とき・5月14日から毎週金曜日午後6時半
ところ・中央公民館大広間

講師・石川富夫氏、今村良助氏、丸岡孝一氏

ハーモニカコース(30名)

とき・5月28日から毎週金曜日午後6時

ところ・中公第1学習室

講師・小松裕氏

篠工芸コース(25名)

とき・5月14日から毎週金曜日午前10時
ところ・中公第2学習室

講師・小沢良子氏

写真撮影コース(30名)

とき・5月14日から毎週金曜日午後6時
ところ・中公第2学習室

講師・宮野明義氏

ヨガコース(40名)

とき・5月15日から毎週土曜日午前10時
ところ・中公スポーツ館

講師・斎藤正子氏

料理コース(30名)

とき・5月19日から毎週水曜午後6時15分
ところ・中公調理室

講師・土濃塚盛子氏

アートフラワーコース(25名)

とき・5月18日から毎週火曜日午前10時
ところ・中公第2会議室

講師・花岡貞子氏

申込・各コースとも5月4日から中央公民館で受け付けています。その他詳細は次へ

市民の善意

◆教育委員会扱い

山本静枝さん(長木川南) 桂城幼稚園へ

柱時計とテレフォンオルゴール

桂城幼稚園卒園児父兄 桂城幼稚園へ

暖房器7個 図書17冊

◆土木課扱い

谷地田翠さん(片山) 土地 645.78m²



成田和子

(南神明町)

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本を選び出すことはむずかしい。
でも忘れない本の中には、壺井栄の「私の花物語」があります。十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーンと胸にしみわたる短編が、なんともいわぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出されるのです。

このころを契機として、読書に興味を持ちはじめたような気がします。

昨年六月に開設しました教育相談所では、家庭内での各

家庭教育相談日 が変わります

今年度の第一回「緑の相談室」を次とのおり開設します。多数ご参加ください。

とき・4月20日 午後1時
ところ・中央公民館
テーマ・庭木、樹木の育て方
講師・斎藤幸雄氏
なお、5月からは毎月第一木曜日開設します。お問い合わせ等は農林課林務係へどうぞ。

電話番号

49-3111内線291

前期技能検定が、次のとおり
実施されます。

受付・4月15日～26日
職種・板金、塗装など38種別
実技及び学科試験

6月19日～9月19日までのうち
償還・9年以内

各種整備資金 の貸付

春の水道管洗浄作業を行って
います。実施日は前号でお知らせしたとおりです。よろしくご協力お願いします。

秋田労働基準局

電話番号

0188-62-6681

ゲートボールの 講習会

日本育英会は、優秀な学生生徒で経済的理由のため学資費不足以生じている方に、奨学金を貸与して修学を援助する機関です。貸与額は七千円から三万九千円まで区分別にあります。募集の時期、出願資格など詳しいことは次にお問い合わせください。

秋田市山王四丁目一の二

「日本育英会秋田県支部」

電話番号

0188-60-2183

5月19日～9月19日までのうち
受付・4月12日～5月10日
限度額・一戸当たり百五十万円

とき・4月25日(日)
(雨天中止)

ところ・桂城小学校グラウンド

電話番号

49-7028

△ 勤く婦人の家
休館日の訂正

4月1日～3・5日曜、祝日

人への休館日が、次のように訂正されましたので、お知らせします。

毎月第一・三・五日曜、祝日

毎月第二・四曜日

12月29日～1月3日

△ 三月力児相談

5月4日～57年1月11日から

20日までの出生児

11日～57年1月21日から

31日までの出生児

18日～57年2月1日から

受付・午後1時～2時

△ 三歳児健診

5月6日～54年4月1日から

15日までの出生児

21日～54年4月16日から

30日までの出生児

区は・六月一日から始まります。

△ 一歳半児健診

5月27日～55年10月生まれの

幼児

受付・午後1時～2時

△ 胃検診

5月27日～55年10月生まれの

幼児

受付・午後1時～2時

△ 申込みの皆さんへ

現在、同年代の私がS.F.小説や推理小説に刺激を求め、スリルを味わっているのを見ると、隔世の感がします。

又、十数年前

友が一冊の詩集と共にプレゼントしてくれた

ミッチャエルの「風と共に去りぬ」も忘がれた

い本として大切にしています。主人公のスカ

ーレット・オハラの強烈ともいえる個性的な

生き方は、十九世紀の出来事とは思えない新

しい一種の野性的生命力さえ感じられる現

社会を生きるためにも娘達をする機会も

ありませんが、この一冊の本を通して、私は

生きる指針を与えてくれたのです。

二十数年前

壺井栄の小説で目ざめ、モー

バッサン、山本有三の「女の一生」に感動し

た日々もありましたが、現在岡部伊豆子の真

體にふれたいと思うようになつたのは、私の

存在感もまた、移り変わつたというべきでしょ

うか。

興味を持ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの草花を題名にして、ソーン

と胸にしみわたる短編が、なんともいわ

ぬ追憶の情にも似て、なつかしく想い出

せるのです。

このころを契機として、読書に興味を持

ちはじめたような気がします。

貧しい読書歴ではあるが、心に残る一冊の本

を選んでくれたのです。

でも忘れない本の中には、壺井栄の「

私の花物語」があります。

十代の前半ころと記憶しているが、一つの